

京洛最古の国宝建造物

千本釈迦堂

大報恩寺

沿革

千本釈迦堂大報恩寺は今から約八〇〇年前、鎌倉初期安貞元年（一二二七）義空上人によって開創された寺である。本堂は創建時そのままでのものであり、応仁・文明の乱にも両陣営から手厚き保護をうけ、奇跡的にも災火をまぬがれた京洛最古の建造物として国宝に指定されている。義空上人は、藤原秀衡の孫にあたり、十九才で叡山澄憲僧都に師事、拾数年ののちこの千本の地を得て、苦難の末本堂をはじめ諸伽藍を建立した。この造営について寺の縁起に次のような物語が記されている。



不思議に材木をしらべたところ、正にその刻印を発見、翌日寺を訪れたところ、夢の老僧は飯堂安置の迦葉尊者であり、成金大いに感激し早速材木を寄進した。……とある。この縁起によっても、大報恩寺の伽藍造営が大工事であったことがうかがわれる。

当山では開創以来の法灯をまもり、多くの伝統行事と文化財を今日に伝えている。

おかめ塚

本堂の前、東の堀ぎわにある宝篋印塔がそれである。本堂の造営の際、棟梁である高次が、かけ替えのない柱の寸法を切り誤って心憂していたのを見た妻の「おかめ」は「いつそ斗棋をほどこせば……」というひと言。この着想が、結果として成功をおさめた。

安貞元年十二月廿六日、厳肅な上棟式が行われたが、この日をまたずして、妻は自ら自刃して果したのである。女の提言によって棟梁としての大任を果し得たということが、世間にもれ聞えては……。「この身はいつそ夫の名声に捧げましよう。」と。

口碑によれば高次は、亡き妻おかめの名に因んだ福面を扇御幣につけて飾り、妻の冥福と大堂の無事完成、永久を祈ったと云われている。

今日、上棟式に上げられるおかめ御幣は、おかめの徳を偲び、永久堅固、繁栄を祈るためだと云われている。

当山の本堂は建立以来約八〇〇年、その昔、度重なる兵乱にも又、応仁の乱にては奇跡的に焼難を免れた唯一、京洛最古の国宝建造物になっている。おかめ信仰は、今日も、災難消除、招福祈願のため、参詣者が後をた、ない。



宝 物 案 内 (国宝・重文)



如意輪観音像 (六観音像のうち)



本堂来迎板壁仏画

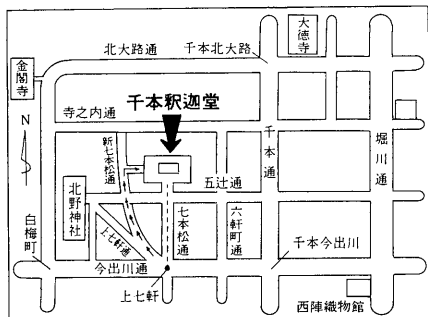


霊宝殿内部

- 一、国宝 本堂 寝殿造
安貞元年義空上人の建、旧京都最古の建物、内陣外陣区画の初期の遺構、内陣に内々陣四天王のある釈迦念仏の道場。正面二四・三〇メートル、側面二二・八メートル。
- 二、国宝 本尊厨子と天蓋
高御座式厨子、天蓋は八葉蓮華文、八方吹返し、周囲に璽格をたれる 高御座の大円鏡に代るもの、釈尊に最高の至誠を捧げた唯一の遺構。
- 三、国宝 本堂来迎板壁仏画
現存鎌倉期の最も画面が広い、原画が剥落し不明の個所が多いが、前面は四天王、普賢文殊、梵天帝釈。背面は叡山を想定した靈鷲山釈迦說法図と思われる。
- 四、国宝 本堂棟木と棟札
義空上人の墨書銘のある棟木と棟札三枚。
- 五、重文 本尊釈迦如来像
大仏師快慶の高弟巧匠行快唯一の作(膝裏に銘記)、目じり、口もとの理智的な作風は快慶の流れをくむ。像九〇・二センチ、寄木内刳 光背は舟型光。
- 六、重文 十六弟子像 十軀
快慶晩年の作、建保六年(一一一八)の年号あり。釈迦に従う十人の弟子、舍利弗、目犍連、摩訶迦葉、阿那律、須菩提、富楼那、迦旃延、優婆塞、羅睺羅、阿難陀の各尊者。肖像彫刻の代表、切金の彩色もよく残り、当初の華やかさが察せられる。像九〇・八センチ、寄木内刳 玉眼入、胎内経九巻もあり。
- 七、重文 六観音像 六軀
定慶の作、貞応三年(一一二四)の銘あり、聖、千手、十一面、馬頭、准胝、如意輪の六観音菩薩像、六軀完存で貴重。滝口入道を伯父とする藤原以久女が願主奉納、宋風、素木造玉眼入、刀法の牙えは見事。像一九一センチ、台座五〇センチ、光背は透彫唐草舟型光。胎内経八巻もあり。
- 八、重文 銅造釈迦誕生仏
重文 銅造釈迦誕生仏
鎌倉期不詳、荷葉座の上に立ち、肉身、衣文の自由な写実は鎌倉期の特色。像五十三センチ。
- 九、重文 千手観音像
藤原初期の作 菅原道真公が梅の古木に自刻。(雍州府志等)写経本坊(養命坊)の本尊。像一七六センチ。
- 一〇、重文 胎内納入経巻
七巻。鎌倉時代。
- 一一、重文 六観音胎内より八巻、十六弟子胎内より九巻の胎内経計十七巻。鎌倉時代。
- 一二、重文 龍太鼓縁一對 室町時代
重文 傳大士及二童子像
院隆の作、室町時代、応永二十五年(一四一八)北野経王堂輪蔵に旧安置。輪蔵に祀られる傳翁と普建・普成二童子からなる三尊像でわが国最古の遺例。
- 一三、京都府指定、有形文化財(工芸品)
伝、足利義満筆、木像扁額願文「経王堂」。

主 要 年 中 行 事

- 二月 節分 おかめ福節分として有名。厄除祈願法要の後、古式による鬼追いの儀、つづいて各界名士による福豆まきが行われる。
- 三月二十二日 千本の釈迦念仏 遺教経会といわれる。第二世如輪上人、文永年間にはじめられ、兼好法師の徒然草に名高い。
- 五月 八日 釈尊花祭 釈尊の降誕を祝う灌仏会。(花御堂に甘茶をささげる。)
- 七月九日、十二日 陶器供養会。土を奉祀し、陶器供養。全国陶器市で賑う。
- 八月八日、十六日 精霊むかえ・六道詣り。全国唯一の六観音と結縁成道会と大根焚き。中風除け、諸病封じ、健康増進祈願。
- 十二月七日 八日



市バス「上七軒」下車・車の方は西入口へ

千本釈迦堂 大報恩寺

京都市上京区七本松通今出川上ル
〒602-8319 電話(075) 461-5973